

特別史跡(国宝の地)登録記念の集い

干潟里海の生物多様性の恵みがもたらした 加曽利貝塚 と

豊かな谷津里山を子どもたちの未来へ!



開催日時 平成30年**11**月**8**日(木) 午後1時~3時
会場 千葉県立中央博物館本館講堂 (聴講無料)

基調講演「加曽利貝塚の価値とその保存・活用の将来」

千葉市立加曽利貝塚博物館
館長 高梨 俊夫



希望の
土偶

ハマグリやイボキサゴの貝層

加曽利
E式土器

今から数千年前、東京湾の干潟は現在の谷津田の部分にも及び、生物多様性の恵みいっぱいの里海が広がっていました。そこには多くの人々が暮らし、その長い営みによりもたらされた貝塚の密度は世界一ともいわれています。

多くの貝塚は、当時の自然の豊かさとともに自然と調和・共存する人々の暮らしを私たちに伝えてくれます。今では谷津里山の豊かな自然にかこまれた加曽利貝塚ですが、その素晴らしさを守り、子どもたちの未来に伝える集いになればとおもいます。

集い座長 千葉市史跡保存整備委員会委員
(放送大学客員教授・
千葉県立中央博物館館友(元副館長))

中村 俊彦

主催：NPO法人 千葉自然学校 千葉シニア自然大学

後援：千葉市教育委員会
協力：千葉県立中央博物館



問合せ & 受付窓口

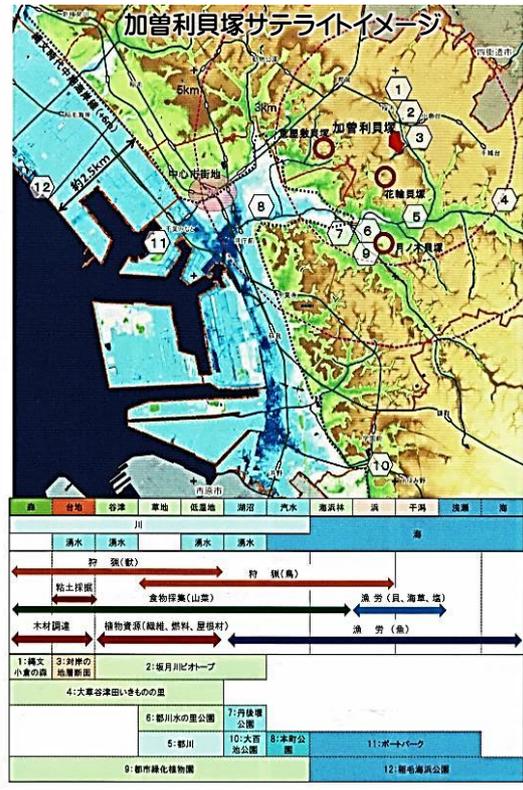
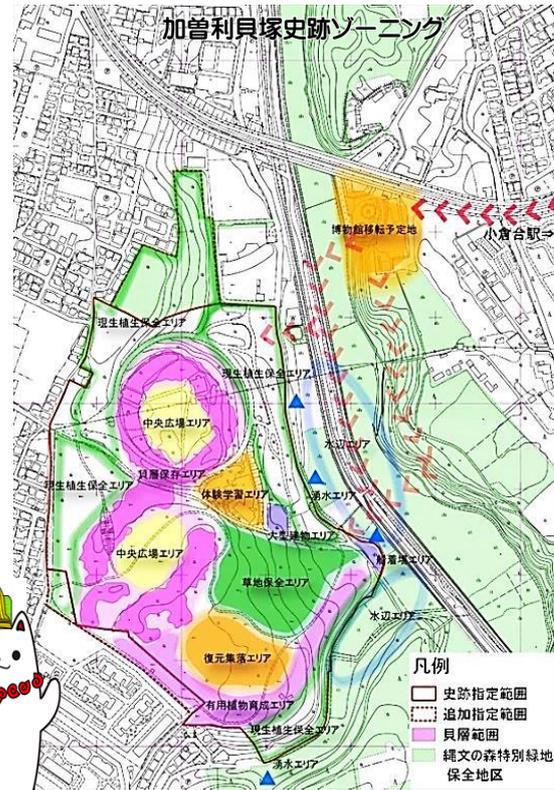
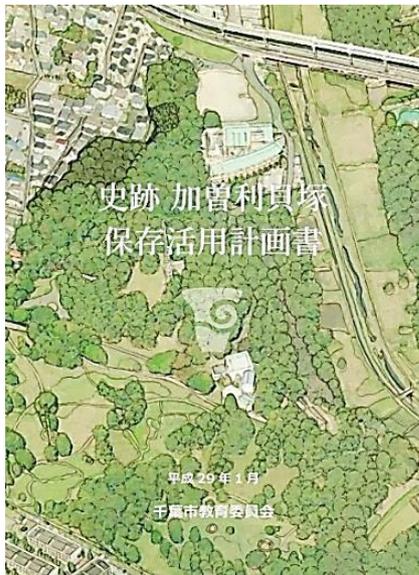
〒260-0015 千葉市中央区富士見2-3-1
塚本大千葉ビル7F

電話 043-227-7103

FAX 043-202-7237

E-mail senior@chiba-ns.net

千葉自然学校シニア自然大学 第7回 自然誌公開講座 平成30年11月8日(木) 午後1時~3時
 干潟里海の生物多様性の恵みがもたらした**加曽利貝塚**と豊かな谷津里山を子どもたちの未来へ!



- 史跡加曽利貝塚の目指すべき姿
- 〇 縄文文化と貝塚の性格を究明し、調査研究の成果を世界に発信していく拠点
 - 〇 研究成果に基づき、縄文時代の景観と人々の暮らしが体感できる史跡
 - 〇 多くの人が集い、地域交流の核を担う拠点
 - 〇 人々の長い歴史を学び、自然と調和・共存する持続可能な未来を探る史跡



知の集積と学び・体験の拠点 加曽利貝塚フィールドミュージアム構想

ちば縄文フェスタ2016 (1月30日) 中村俊彦

博物館

貝塚Aフィールド

貝塚Bフィールド

貝塚Cフィールド

貝塚Dフィールド

干潟里海フィールド

谷津里山フィールド

過去を未来へ!

Google earth



- ### 千葉県立中央博物館本館への交通アクセス
- ・千葉駅東口の7番乗り場から京成バス「千葉大学病院」、「千葉大学病院 南矢作」行き、6番乗り場からちばシティバス「川戸都苑」行きで約15分。「中央博物館」バス停下車、徒歩7分。
 - ・蘇我駅東口2番乗り場から小湊鉄道バスまたは千葉中央バス「大学病院」行きで約15分。「中央博物館」バス停下車、徒歩6分。
 - ・京成千葉寺駅から徒歩約20分蘇我駅からのバスは千葉寺駅経由)
 - ・車で京葉道路「松ヶ丘」インターから大綱街道を市街地方面へ。県立青葉の森公園北口駐車場を目指す。